

# 予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：男女共同参画推進費

## 事業名 女性のための小さなビジネス支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 男女共同参画推進課 男女共同参画係

男女共同参画・女性の活躍支援センター

電話番号：058-214-6431

E-mail：c11234@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,253 千円 (前年度予算額： 4,834 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,834	2,378	0	0	0	0	0	0	2,456
要求額	6,253	4,533	0	0	0	0	0	0	1,720
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・女性労働力については、結婚、出産、子育てを機に一旦離職するケースが多く、30～39歳の有業率は他に比べて低い水準にある。(M字カーブ)
- ・岐阜県では、20代30代の若い女性の県外流出が顕著であり、理由は「職業上」を理由としている
- ・都市部のように様々な働き口があるわけではない中、女性が愛着を持つ地元に住み続けるためには、自ら仕事を「作り出す」必要がある。
- ・女性の多様な働き方として起業することで、「時間的制約」や「家庭との両立」、「ワーク・ライフ・バランス」などが実現できる可能性があるが、岐阜県で起業する女性は少ない(起業家全国31位)。

### (2) 事業内容

女性の起業に向けた講座を開催し合わせて起業に必要なデジタルスキル講座を実施することで女性の起業を支援する

- 1 起業を目指す女性のために必要な、基礎知識に関する座学授業を開催
- 2 起業した後の営業活動やPR活動に必要なHPやオンラインショップ製作、SNSやECサイトの活用等の実習講座を開催
- 3 デジタルスキルの習得途中や、サイト開設後も継続的にフォローし、起業の実現と事業の継続をサポートする。

### （３）県負担・補助率の考え方

県内女性向けのきめ細かい起業支援は、女性のワーク・ライフ・バランスの実現や、地域での活躍、地元定着につながることから、岐阜県が実施することが妥当。  
地域女性活躍推進交付金（国3/4・県1/4）を充当予定。

### （４）類似事業の有無

既に起業している中小企業向けのネットショップの支援や、WEBマーケティングの事業はあるが、これから起業する女性向け事業計画の作成からのデジタルスキルまでを一連で支援する事業はない。

## ３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル評価委員報償費
旅費	48	プロポーザル評価委員費用弁償、業務活動旅費
消耗品費	30	資料作成費、コピー代
会議費	1	プロポーザル評価会議お茶
役務費	141	郵送料、電話料
委託料	6,001	事業費
合計	6,253	

## 決定額の考え方

## ４ 参 考 事 項

### （１）各種計画での位置づけ

岐阜県男女共同参画計画（第５次）

#### １ 男女が共に活躍できる社会づくり

- 「家庭や地域活動と仕事を両立」を希望する人の割合と実際両立している人との割合の差R4（18.8ポイント）→R10（9ポイント）

### （２）国・他県の状況

- ・ 国）女性版骨太の方針２０２４  
Ⅰ 企業等における女性活躍の一層の推進  
（４）女性起業家の支援
- ・ 起業を考えている女性の入門講座の実施（多数）  
デジタルスキル研修まで一連で実施（青森県、埼玉県、京都府、山口県）

### （３）後年度の財政負担

地域女性活躍推進交付金（国1/2・県1/2）を充当予定。

### （４）事業主体及びその妥当性

・事業を遂行するにあたり「創造性」「構想力」「応用力」を活用した企画が必要であることから、プロポーザル形式により委託する

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県男女共同参画計画（第5次）

- 「家庭や地域活動と仕事を両立」を希望する人の割合と実際両立している人との割合の差R4（18.8ポイント）→R10（9ポイント）

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①「家庭や地域活動と仕事を両立」を希望する人の割合と実際両立している人との割合の差	18.8ポイント				9ポイント	

○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和5年度	<p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和6年度	<p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3: 期待以上の成果あり  
2: 期待どおりの成果あり  
1: 期待どおりの成果が得られていない  
0: ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている

(評価)

### (今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

女性の起業に向けた講座を開催し合わせて起業に必要なデジタルスキル講座を実施することで女性の起業を支援する

### (次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

申込者・参加者数等からニーズを把握し、事業の継続を判断する。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント  
又は事業名及び所管課  
組み合わせる理由  
や期待する効果 など

【〇〇課】